



にんじん



発行日：令和5年2月7日

1. 卸売価格の動向

○123円/kg (2月4日)

➢ 平年比：101%

○2月の価格見通し

平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○341円/kg (1月全国平均)

➢ 前月比：101%、平年比：104%

➢ 東京：182円（3本）

➢ 大阪：184円（3本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：8/20（前月7/20）

➢ 大阪：3/10（前月5/10）

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○278g/人 (12月全国平均)

➢ 前月比：114%

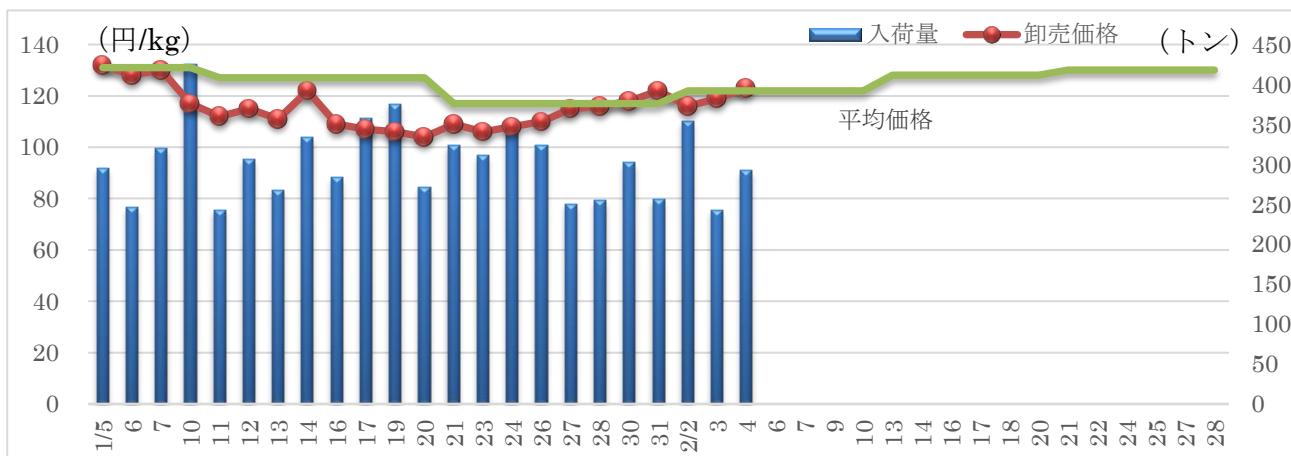
➢ 前年同月比：104%

○2,775g/人 (2021年年間)

➢ 前年比：97%

(総務省統計局家計調査)

4. にんじんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



5. にんじんの小売価格の推移

(円/kg)

● 令和5年 ● 令和4年 ● 年平均



6. 主産地の生育・出荷動向

| 産地名 | 作付面積 | 作況 | 生育進度 | 出荷進度 |
|--------------------|------|------|------|---------------|
| 茨城県鹿島 (1/10) | 前年並み | やや豊作 | 早い | やや早い ～平年並み |
| 愛知県碧南 (12/21) | 減少 | やや良 | やや早い | やや早い |
| 徳島県吉野川流域 (12/9) | 前年並み | 平年並み | 平年並み | － |
| 沖縄県糸満 (12/7) | 前年並み | － | 平年並み | － |

※特記ない場合は平年比。（ ）内は調査日。

（機構調べ）



茨城県鹿島：収穫物

7. 向こう1ヶ月の気象情報（2/4～3/3）

| 週別の天候 | | | | |
|--|-----------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 2/04～2/10 | | | | |
| 北日本日本海側では、平年と同様に雪の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、平年と同様に雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、低気圧や温った空気の影響を受けやすく、平年に比べ雪の日が多いでしょう。 | | | | |
| 2/11～2/17 | | | | |
| 北日本日本海側では、平年と同様に雪の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われる時期があり、平年に比べ雪の日が多いでしょう。 | | | | |
| 2/18～3/3 | | | | |
| 北日本日本海側では、平年と同様に雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に雪の日が多いでしょう。 | | | | |
| 北日本 | | 平均気温（1か月） | 降水量（1か月） | 日照時間（1か月） |
| 日本海側 | 低50 並30 高20% 低い見込み | 少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み | 少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み | 少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み |
| | | | | |
| 東日本 | 日本海側 太平洋側 | 低10 並30 高60% 高い見込み | 少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み | 少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み |
| | | | | |
| 西日本 | 日本海側 太平洋側 | 低10 並30 高60% 高い見込み | 少20 並40 多40% 平年並か多い見込み | 少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み |
| | | | | |

（気象庁 1カ月予報）

8. 輸入動向（生鮮にんじん）

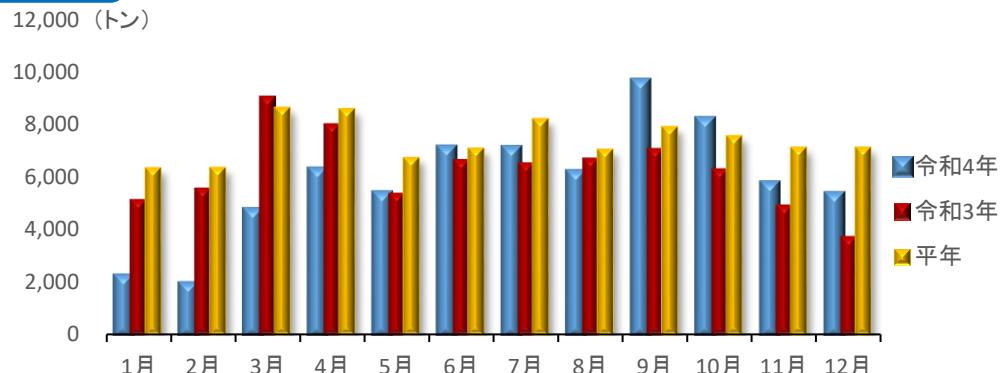
○5,339トン（12月輸入量）

➤ 前年同月比：144%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 5,275トン
- 2位 オーストラリア 60トン
- 3位 米国 4トン

（財務省貿易統計）



9. 一口メモ

1月は、千葉産、埼玉産などの関東産を中心に安定した市場入荷となったことから、価格は平年を下回ったものの、下旬の寒波による低温や降雪で肥大が緩慢になったことから、依然として平年を下回った価格であったものの、上げ基調に転じました。

2月は、前進入荷の反動で千葉産、埼玉産などの関東産の入荷が落ち着くことから、価格は平年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>
<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793